

各支部長 新春のご挨拶



旭川支部 支部長
佐藤 聡

皆様、新年あけましておめでとうございます。
本会、各支部、また事務局の皆様には日頃より旭川支部へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

誰も想像だにできなかった新型コロナウイルスの感染拡大は、人類すべての生業や生活様式、また国家、地域、個人間の関係性に多大な影響を与えました。私達行政書士にとっても業務への影響はもとより、予定していた支部の事業の殆どが実施できないという前代未聞の状況に、試行錯誤しながらの令和2年を過ごしてまいりました。

対面での無料相談会や市民講座は一時期、中止と電話相談に切り替え可能な範囲で対応してきました。

毎年実施している「たくまくん文庫」の寄贈は昨年も実施し、セレモニーは児童に配慮し、支部事務局において行政、贈呈先の担当者にお越しいただき、感謝状や児童からのお手紙、写真などを拝受しました。

研修会は広い会場で感染防止に努めながら、昨年3回実施することができました。(うち1回はオンライン研修)

コロナ禍での新たな試みとして、Zoomを使用した支部オンライン会議を試行しました。今後の運営に役立てていきたいと思っております。また、本会と旭川市、旭川六土業と旭川市との災害時支援協定をより具体化すべく、市の担当者からの要望の聞き取り、具体的な支援のための研修会(罹災証明書や連絡窓口など)を開催する計画を検討中です。

こういう時代だからこそ私達ができること、行政書士が市民の皆様の役に立てることはたくさんあると思っております。災害関連の助成金の申請支援をはじめ、「国民の生活向上と社会の繁栄進歩に貢献することを使命とする」との綱領を今こそ証明していきたいとの志をもって本年をスタートしてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、会員皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



網走支部 支部長
廣木 保博

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては日頃より網走支部の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご存じのとおり昨年は新型コロナウイルスに翻弄された大変な一年となりました。2月末に北海道初となるクラスターが北見市内で発生したときは、正に激震と呼べるものでした。その後4月の緊急事態宣言により当支部総会も書面決議への変更を余儀なくされ誠に残念な事態となりました。

以降、ZOOMを利用した支部理事会を開催し対応の協議を重ねましたが、ほとんどの活動を自粛することとなりました。如何に可能性が低くても人命に関わることでありまた自主隔離や他人に迷惑をかけたり風評被害まで考えると、全てにおいて慎重にならざるを得ません。

新型コロナの出現により今まで見えなかったものが見えてきたり、なかなか実現できなかったことが実現できたりと、社会が強制的に急激に変化してきます。この変化をチャンスに変えられるよう、例年以上に頑張りたいものです。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

